



2020年度 第1四半期
決算概要

2020年8月12日
日揮ホールディングス株式会社

グループ財務部長の田口です。

2020年度第1四半期の決算概要について説明させていただきます。

1. 2020年度第1四半期ハイライト
2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
3. セグメント情報
4. 連結貸借対照表
5. 受注の状況
6. 業績見通し

1. 2020年度第1四半期ハイライト



決算のポイント

- 前年同期比で粗利益率が改善
- 強固な財務基盤を維持

新型コロナウイルス感染拡大の事業への影響

- 総合エンジニアリングは、各国の規制や状況を踏まえ、感染防止対策を取りつつ案件遂行中
- 機能材製造は、顧客の減産等による需要低下の影響受けるも、期初想定範囲に留まる

3

最初に当第1四半期のハイライトです。

業績面では、期初予想レベルの粗利益率を確保し、前年同期比では改善となりました。

前期末と変わらず、強固な財務基盤を維持しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響ですが、総合エンジニアリング事業では、各国の建設工事現場やオフィスにおいて感染防止対策をとりつつプロジェクト遂行を継続しています。

当社本社も緊急事態宣言の解除後も在宅勤務を一部併用しています。

機能材製造事業では、販売面で顧客の減産等による需要低下の影響がみられるものの想定範囲に留まっています。

2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (決算短信 P.6~7)



【億円】

	FY2019 1Q	FY2020 1Q	前年同期比	通期予想値
売上高	1,074	968	△ 105	4,800
売上総利益	82	91	+8	430
利益率	7.7%	9.4%	+1.7pt	9.0%
営業利益	28	42	+13	200
経常利益	53	43	△ 9	230
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	14	△ 6	80
四半期純利益	21	14	△ 7	
その他の包括利益	△ 36	93	+129	
四半期包括利益	△ 14	107	+121	

4

次に連結損益計算書及び連結包括利益計算書です。

当第1四半期は、新型コロナウイルスの影響によりスロースタートとなりましたが、全般的に期初の見通しに沿って進んでいる状況です。

売上高は、前年同期比105億円減の968億円。

売上総利益は、8億円増の91億円。

粗利益率は総合エンジニアリング事業の収益性改善等により1.7ポイント改善して9.4%。

営業利益は、13億円増の42億円。

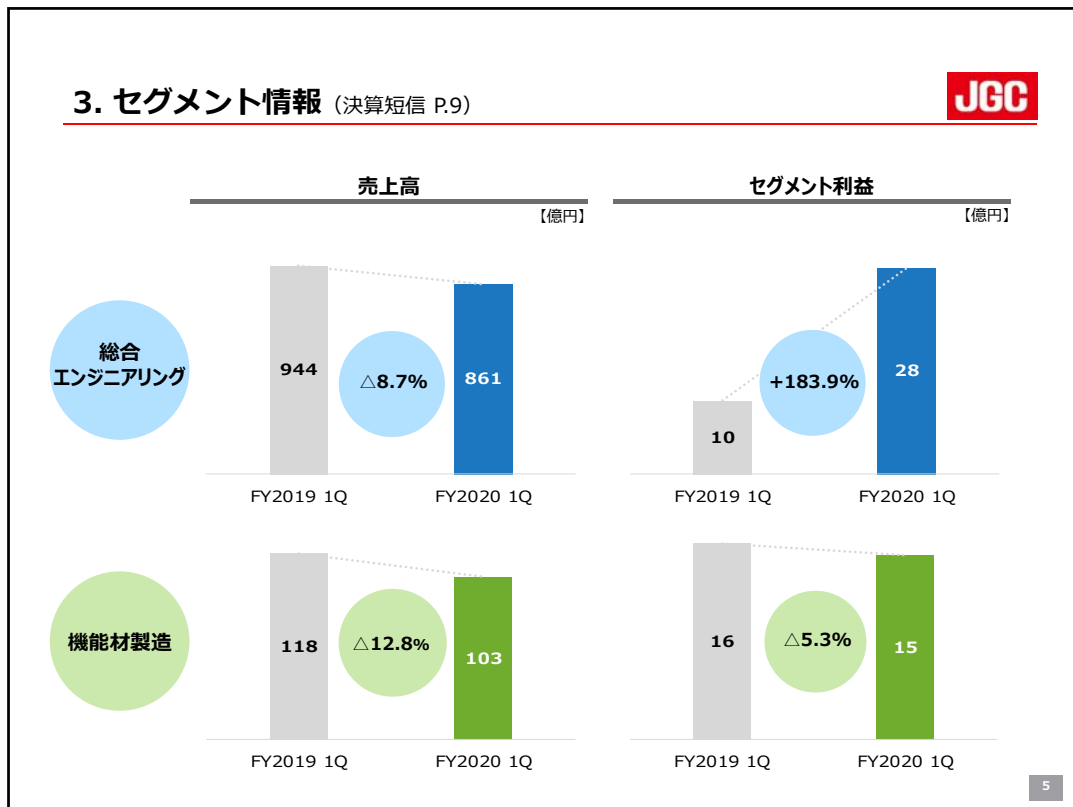
営業外収益の減少や為替差損の影響により、経常利益は9億円減の43億円。

親会社株主に帰属する四半期純利益は14億円です。

前年度に続き、今年度も外国税額の二重課税の影響を受け税負担率は高水準となっています。

その他の包括利益93億円は、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の戻りによるものです。四半期包括利益は107億円となりました。

3. セグメント情報 (決算短信 P.9)



次にセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業は、売上高は前年同期比8.7%減収の861億円となりました。

セグメント利益は28億円です。LNGカナダプロジェクトの売上が上がってきたことに加えて、販管費の発生が緩やかだったことで前年同期比で増益となりました。

主な売上計上案件は、海外ではLNGカナダプロジェクト、アルジェリアのガス昇圧設備、タイの化学案件、モザンビークのFLNGプロジェクト、クウェートの製油所案件です。

国内は化学関係の他、病院、バイオマス発電案件などです。

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、在宅勤務による生産性の低下や、感染拡大地域からの一時退避、作業員の移動や物資の輸送の制限などにより、一部案件では工期延長の可能性がります。

これに伴う追加コストは、客先との契約条件等を勘案してプロジェクトごとに影響額を見積り、前期決算で反映しています。

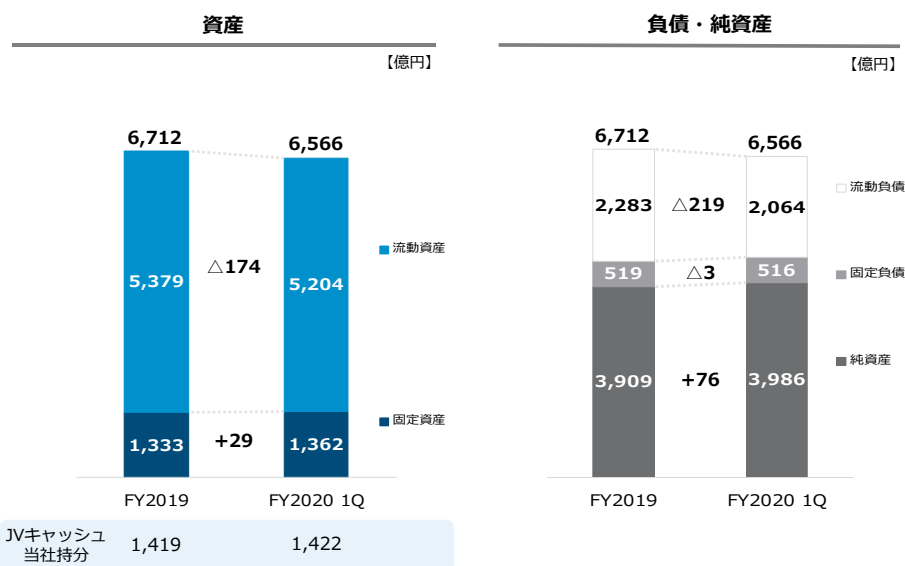
機能材製造事業は、売上高は前年同期比12.8%減収の103億円、セグメント利益は5.3%減少の15億円となりました。

新型コロナウイルス影響をはじめとした経済全体の活動停滞から、触媒、ファインケミカル製品共に影響を受け、減収減益となっていますが、今のところ期初想

定の範囲内です。

通期予想に対する売上高の進捗は、総合エンジニアリング事業が20%、機能材製造事業が25%でした。

4. 連結貸借対照表 (決算短信 P.4~5)



次に連結貸借対照表です。

総資産は前期末に比べ146億円減少し6,566億円となりました。資産サイドでは流動資産が174億円減少しています。終了案件のジョイントベンチャーからの配当金入金など資金回収による完成工事未収入金の減少が主な理由です。

現預金残高は若干減少して2,533億円でした。

バランスシートに計上していないジョイントベンチャーの現預金残高の当社持分は1,422億円と前期比横ばいです。

負債・純資産サイドでは流動負債が219億円減少しています。工事終盤の案件の進捗に伴う工事未払金及び未成工事受入金の減少によるものです。

純資産の増加76億円は、前四半期に急落したオーストラリアドルが回復し為替換算調整勘定が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は60%です。

5. 受注の状況 (決算短信 P.11)



i) 受注高

【億円】

	FY2020 1Q	通期予想
海外	652	5,400
国内	147	1,300
合計	799	6,700

次に受注の状況です。

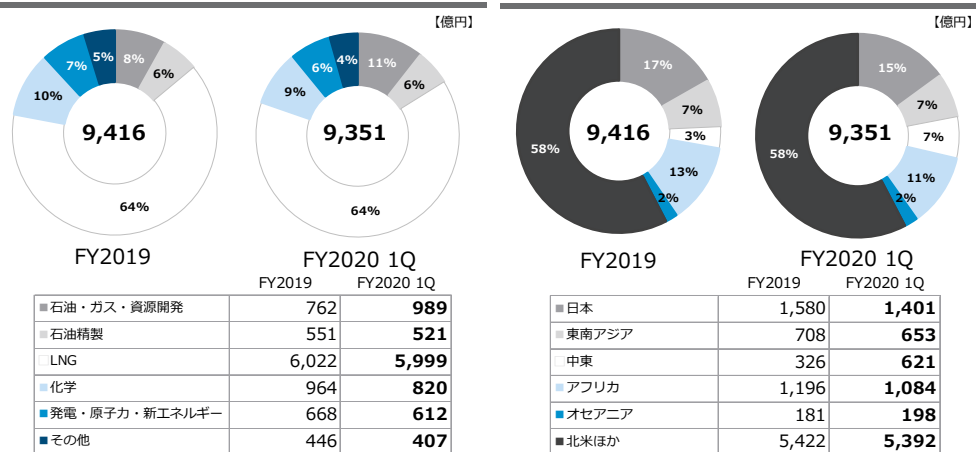
受注高は、海外は海外子会社によるサウジアラビアのガス処理設備の受注などにより652億円、国内は147億円、合計799億円となりました。

通期予想は6,700億円に変更ありません。

ii) 受注残高

分野別

地域別



FY2020 1Q 主要案件

1,000億円以上
LNG (カナダ)

500億円以上
FLNG (モザンビーク)

300億円以上
ガス処理設備 (サウジアラビア)
化学 (タイ)
バイオマス発電 (国内)

次に受注残高です。

2020年6月末の受注残高は、前期末から若干減少して9,351億円となりました。分野別ではLNG関係が64%、地域別では北米ほかが58%とそれぞれ最大になっています。

主な受注残高は、LNGカナダプロジェクト、モザンビークFLNGプロジェクトなどです。300億円以上の案件に今期受注計上したサウジアラビアのガス処理設備が加わりました。

6. 業績見通し



通期の業績予想に変更はありません。

【億円】

	通期予想
受注高	6,700
売上高	4,800
売上総利益	430
利益率	9.0%
営業利益	200
経常利益	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	80
1株当たり配当金	12.0円
換算レート(米ドル)	107円

9

最後に2020年度の業績見通しです。

前回発表値から変更はありません。

この予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が今後著しく悪化せず、当社グループの事業環境が今年度末に向けて徐々に回復する前提で算出しています。

総合エンジニアリング事業では、現在、新型コロナウイルス感染防止対策を取りつつ各国のプロジェクトを遂行中であり、それによる進捗の低下が見受けられますが、年度後半から売上高も持ち直すと見えています。

この業績予想に使用した為替レートは、1米ドル107円です。為替レートの変動による影響は、1円当たり売上高25億円、粗利益1億円、経常利益4億円です。

2020年度第1四半期の決算概要の説明は以上です。

参考資料

参考（2020年度のセグメント別見通し）



通期の業績予想に変更はありません。

【億円】

	総合 エンジニアリング	機能材製造	その他 (調整額含む)
売上高	4,320	420	60
セグメント利益	150	50	0
利益率	3.5%	11.9%	0.0%

参考（地域別売上高、受注高）



売上高

【億円】

	FY2019 1Q	FY2020 1Q
日本	371 (34.6%)	401 (41.5%)
東南アジア	157 (14.6%)	91 (9.4%)
オセアニア	43 (4.1%)	3 (0.4%)
アフリカ	202 (18.8%)	113 (11.7%)
中東	122 (11.4%)	87 (9.1%)
欧州・CIS	9 (0.9%)	Δ 9 (Δ 1.0%)
北米ほか	167 (15.6%)	279 (28.9%)
合計	1,074 (100.0%)	968 (100.0%)

受注高

【億円】

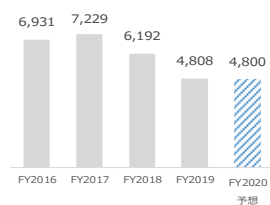
	FY2019 1Q	FY2020 1Q
日本	398 (77.4%)	147 (18.5%)
東南アジア	72 (14.2%)	34 (4.3%)
オセアニア	4 (0.9%)	0 (0.0%)
アフリカ	3 (0.7%)	22 (2.8%)
中東	22 (4.3%)	381 (47.7%)
欧州・CIS	3 (0.6%)	Δ 17 (Δ 2.1%)
北米ほか	9 (1.9%)	229 (28.8%)
合計	514 (100.0%)	799 (100.0%)

参考（業績推移-通期）

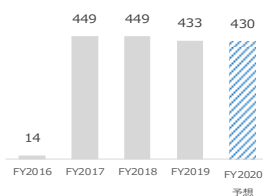


【億円】

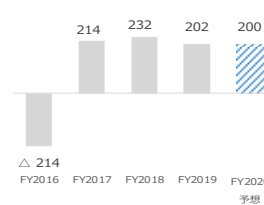
売上高



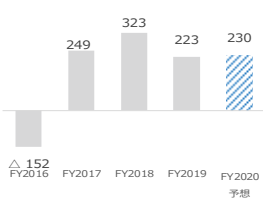
売上総利益



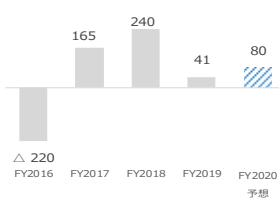
営業利益



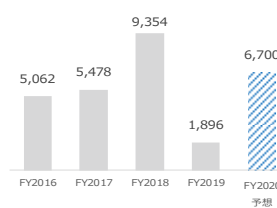
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



受注高



将来の見通しに関するご注意事項



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

<本資料に関するお問い合わせ先>
日揮ホールディングス株式会社
グループ経営推進部 コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com